

21006	<h2 style="text-align: center;">社会福祉発達史</h2> <p style="text-align: center;">History and Development of Social Work</p>		2 年次～ 通年 4 単位		
担当者	望月 ミチ	履修可能学科	E Pe Pc C W F N		
	関連資格		教職・福祉主 (W) 福祉主 (E・Pe・Pc・C・F・N)		
サブタイトル	社会福祉の歴史研究				
授業内容 ・ ねらい	社会福祉の歴史的展開過程を探究し、その発展の要因を考察する。まず、欧米における社会福祉の発達過程についてふれ、その先駆的な歴史の流れから社会福祉発達の原理を学びとって行きたい。つぎにわが国の社会福祉の歴史について、前史としての古代社会や封建社会の動向から、近代社会以降、さらに戦前と戦後の時代の変遷とその特徴を検討する。社会福祉が、どのような社会状況のもとで、どのように成立し、いかに展開してきたかを知ることにより、現状を分析し、未来の展望を試みる手だてとしたい。				
授業計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                             前期                              1. 社会福祉における歴史的研究の意義と課題                              2. 社会福祉前史                              3. イギリスの社会福祉                              4. 中世社会の慈善事業                              5. キリスト教の慈善事業                              6. 救貧法の成立                              7. 新救貧法の成立                              8. 社会事業の成立                              9. 福祉国家と社会福祉の展開                              10. 近年のイギリスにおける福祉改革                              11. アメリカの社会福祉                              12. 植民地時代の救貧体制                              13. 社会保障の成立と専門社会事業の確立                              14. 第二次世界大戦後の社会福祉                              15. 貧困戦争の破綻と福祉権運動                         </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                             後期                              16. 日本の社会福祉のあゆみ                              17. 古代社会の慈善救済                              18. 中世社会の慈善救済                              19. 前期封建社会と慈善救済                              20. 後期封建社会と慈善救済                              21. 感化救済事業の萌芽と形成                              22. 社会事業の成立と展開                              23. 社会事業から厚生事業へ                              24. 戦後改革期の社会福祉                              25. 福祉三法の成立                              26. 社会保障と社会福祉の後退                              27. 高度成長期の社会福祉                              28. 福祉六法体制                              29. 日本型福祉社会と社会福祉の課題                              30. 新しい社会福祉の動き                         </td> </tr> </table>			前期 1. 社会福祉における歴史的研究の意義と課題 2. 社会福祉前史 3. イギリスの社会福祉 4. 中世社会の慈善事業 5. キリスト教の慈善事業 6. 救貧法の成立 7. 新救貧法の成立 8. 社会事業の成立 9. 福祉国家と社会福祉の展開 10. 近年のイギリスにおける福祉改革 11. アメリカの社会福祉 12. 植民地時代の救貧体制 13. 社会保障の成立と専門社会事業の確立 14. 第二次世界大戦後の社会福祉 15. 貧困戦争の破綻と福祉権運動	後期 16. 日本の社会福祉のあゆみ 17. 古代社会の慈善救済 18. 中世社会の慈善救済 19. 前期封建社会と慈善救済 20. 後期封建社会と慈善救済 21. 感化救済事業の萌芽と形成 22. 社会事業の成立と展開 23. 社会事業から厚生事業へ 24. 戦後改革期の社会福祉 25. 福祉三法の成立 26. 社会保障と社会福祉の後退 27. 高度成長期の社会福祉 28. 福祉六法体制 29. 日本型福祉社会と社会福祉の課題 30. 新しい社会福祉の動き
前期 1. 社会福祉における歴史的研究の意義と課題 2. 社会福祉前史 3. イギリスの社会福祉 4. 中世社会の慈善事業 5. キリスト教の慈善事業 6. 救貧法の成立 7. 新救貧法の成立 8. 社会事業の成立 9. 福祉国家と社会福祉の展開 10. 近年のイギリスにおける福祉改革 11. アメリカの社会福祉 12. 植民地時代の救貧体制 13. 社会保障の成立と専門社会事業の確立 14. 第二次世界大戦後の社会福祉 15. 貧困戦争の破綻と福祉権運動	後期 16. 日本の社会福祉のあゆみ 17. 古代社会の慈善救済 18. 中世社会の慈善救済 19. 前期封建社会と慈善救済 20. 後期封建社会と慈善救済 21. 感化救済事業の萌芽と形成 22. 社会事業の成立と展開 23. 社会事業から厚生事業へ 24. 戦後改革期の社会福祉 25. 福祉三法の成立 26. 社会保障と社会福祉の後退 27. 高度成長期の社会福祉 28. 福祉六法体制 29. 日本型福祉社会と社会福祉の課題 30. 新しい社会福祉の動き				
教科書 参考書	必要に応じ印刷教材を配布します。またVTR やVID などによる視聴覚教材を活用する予定です。				
評価方法	授業出席状況、および授業時に提出する小レポート、前期・後期にそれぞれ提出してもらった期末レポートまたは試験による総合評価を予定しています。				
事前準備学習 履修条件等	「社会福祉概論」または「社会福祉」を履修済みであることが望ましい。				